

宮崎ワシントンニアパーク維持管理検討会 第6回検討会

日 時：平成29年10月26日（木）14：00～16：00

会 議：国土交通省 宮崎河川国道事務所 本館1階会議室

現地調査：一の鳥居交差点～江平5差路交差点

会 議 次 第

1 開会

2 挨拶

3 議 事

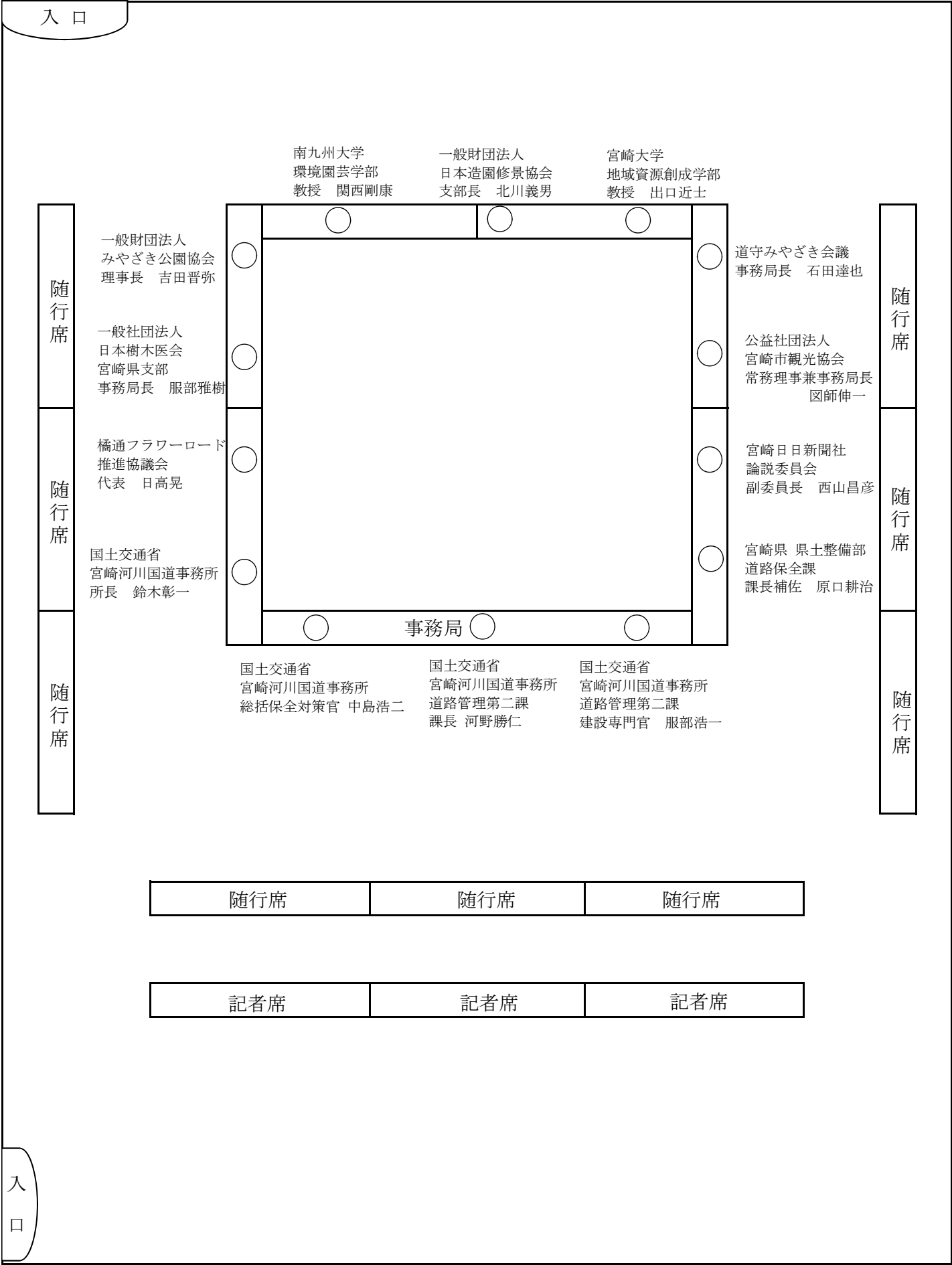
- ・更新（植え替え）計画の基本的な考え方
- ・苗木の調達方法
- ・現地調査（一の鳥居交差点～江平交差点）
- ・今後のスケジュール

4. 閉 会

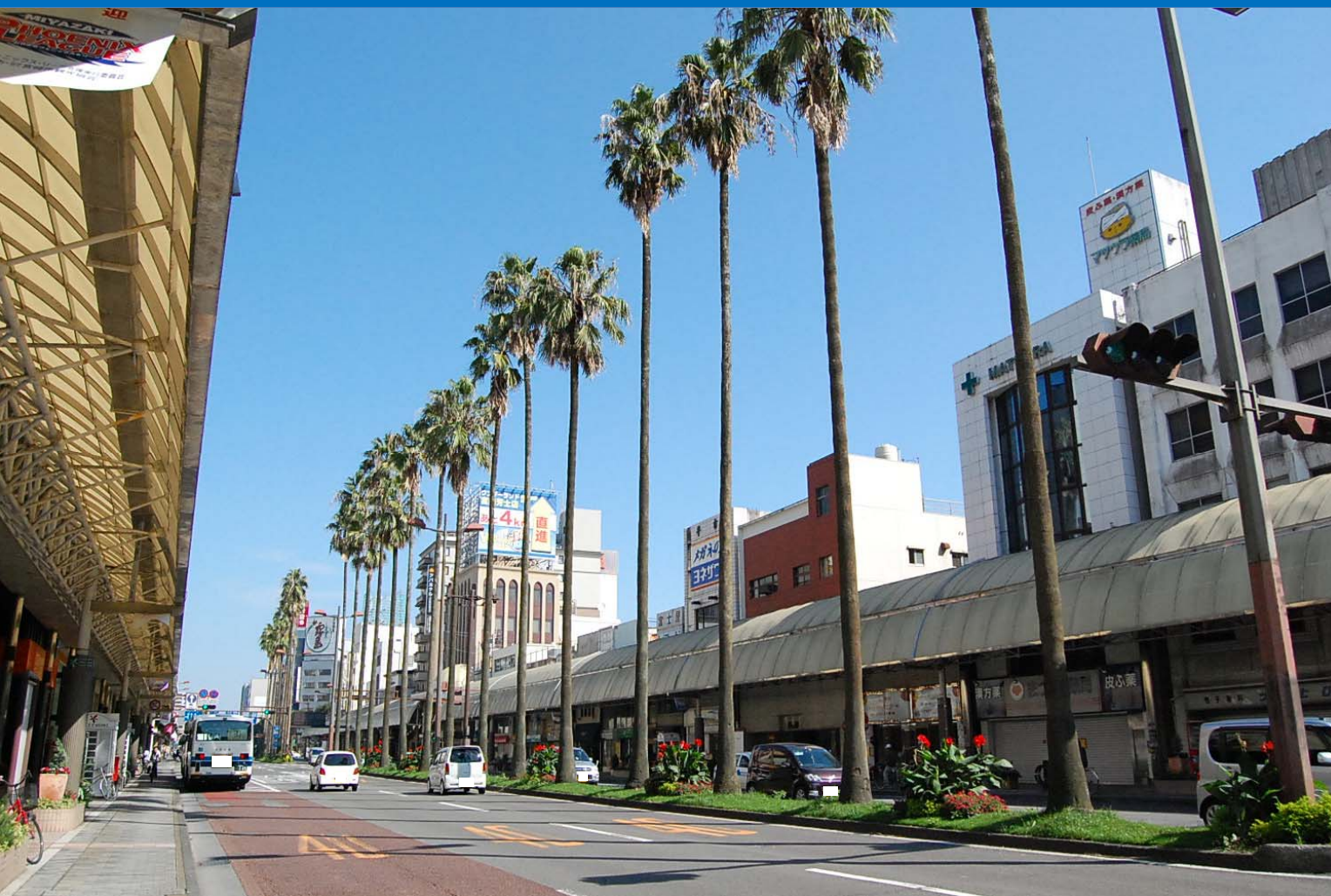
■第6回宮崎ワシントンニアパーム維持管理検討会 出席者名簿

	役 職		名 前	備 考
委員長	一般財団法人 日本造園修景協会	宮崎支部長	北川 義男	
委員	南九州大学 環境園芸学部	教授	関西 剛康	
委員	宮崎大学 地域資源創成学部	教授	出口 近士	
委員	福岡大学 工学部	教授	柴田 久	欠席
委員	一般財団法人 みやざき公園協会	理事長	吉田 晋弥	
委員	一般社団法人 日本樹木医会 宮崎県支部	事務局長	服部 雅樹	
委員	道守みやざき会議	事務局長	石田 達也	
委員	日南海岸きらめきライン	事務局代表	谷越 衣久子	欠席
委員	橘通フラワーロード推進協議会	代表	日高 晃	
委員	地域交流誌「みちくさ」	編集長	福永 栄子	欠席
委員	公益社団法人宮崎市観光協会	常務理事兼事務局長	図師 伸一	
委員	宮崎日日新聞社 論説委員会	副委員長	西山 昌彦	
委員	宮崎県 県土整備部 道路保全課	課長	西田 員敏	代理 原口 耕治
委員	宮崎市 都市整備部	部長	末益 大嗣	欠席
委員	宮崎河川国道事務所	事務所長	鈴木 彰一	
(事務局)				
	宮崎河川国道事務所	副所長	肥川 雄二	欠席
	宮崎河川国道事務所	総括保全対策官	中島 浩二	
	宮崎河川国道事務所 道路管理第二課	課長	河野 勝仁	
	宮崎河川国道事務所 道路管理第二課	建設専門官	服部 浩一	

第6回 宮崎ワシントニアパーム維持管理検討会 配席表



第6回 宮崎ワシントンニアパーム維持管理検討会



平成29年10月26日

【目次】

1. 更新計画策定の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～3 P
2. 更新（植え替え）計画の基本的な考え方・・・・・・・・ 4～5 P
3. 苗木の調達方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6～12 P
 - （1）苗木調達の基本方針
 - （2）体験学習実施計画（案）
4. 平成29年度更新区間の現地調査・・・・・・・・・・・・ 13～18 P
 - （1）平成29年度更新（植え替え）の工事概要
 - （2）現地調査の概要
5. 今後のスケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19 P

1. 更新計画策定の目的

(1) 計画的な更新の必要性について

①安全管理面

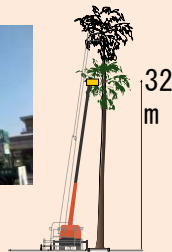
- ・枯れ枝等の落下事故防止の為、高所作業車による対策を定期的を実施。
高所作業車が1車線の規制幅の中で剪定作業可能な高さは32mまで。
- ・現在の樹高は最も高いもので21.3m。
ワシントニアパームの成長が進むにつれ、作業の困難さが増大。



枯れ枝の落下による
通行車両への損傷の例



枯れ枝落下防止作業の状況
(1車線規制で32mまで)



(樹高32m－植栽時4m)
÷ 年最大成長量0.4m
≒ 植栽後 **おおよそ70 年が限界**

②生態面

- ・ワシントニアパームの寿命は不明で事例を考慮すると約100年と想定。
植栽時の樹齢が約15年のため、植栽後約85年を更新の目標とする。
 - ・古いものはS42頃に植栽され、植栽後約50年が経過(196本)。このままにしておくとも一斉に更新時期を迎える。
- ※専門書ではワシントニアパームの寿命は不明。
樹齢100年(樹高約35m)になった事例もある。
類似樹種のオキナヤシの寿命は60年と記載。



立ち枯れの例



台風による倒木の例

植栽後 **おおよそ85 年が限界**

③景観面

- ・ワシントニアパームの景観的特徴として「高さ」「姿」が挙げられ、その「ある程度の高さ」「群としてのまとまり」が道路景観を印象的にしている。



橋通西3丁目付近



南方付近

- ・このまま現在の管理を続けた場合、いずれ1車線規制での管理ができなくなるとともに一斉に倒木するリスクもある。
- ・一方、更新計画がないまま限界に達したパームから更新(植え替え)を行った場合、更新箇所がまばらになり、パームの特徴である「ある程度の高さ」「群としてのまとまり」が失われ地域資源の喪失につながる。

そのため、「ある程度の高さ」「群としてのまとまり」を維持しつつ、**計画的な更新(植え替え)が必要**

1. 更新計画策定の目的

(2) 維持管理方針の策定

○計画的な更新に向け、平成24年度「国道10号・220号の植栽と景観に関する検討会」において、『維持管理方針』が策定された。

< 維持管理方針 >

1. ワシントニアパームのある景観を残す。
2. 新しいワシントニアパーム(若い木)に順次植え替えて、持続可能な管理を行っていく。
(概ね30～60年サイクル)

(3) 維持管理方針に基づく更新計画の策定

平成24年度の『維持管理方針』を踏まえ、

- ①ワシントニアパームのある道路景観を維持しつつ、
- ②地域資源としてのワシントニアパーム並木を次世代へつなぎ、地域の活性化に貢献することを目的に、持続可能な更新（植え替え）計画を策定する。

【主な検討項目】

- ・更新（植え替え）の順序の検討
- ・更新（植え替え）パターンの検討
- ・苗木の調達方法の検討
- ・地域との協働による更新（植え替え）方法の検討
- ・既存木の活用方法の検討



更新（植え替え）計画の策定

- 第1回検討会：H27. 10. 6
- 第2回検討会：H28. 2. 4
- 第3回検討会：H28. 4. 26
- 第4回検討会：H28. 10. 31
- 第5回検討会：H29. 3. 10

2. 更新(植え替え)計画の基本的な考え方

検討会意見概要	基本的な考え方
(1) 更新(植え替え)パターン	
○周辺景観を考慮した更新パターンの検討が必要。 橋通りは人通りが多く重要な区間。違う方法を検討。 (統一感、シンボルロード等) ○景観的価値の維持や地元意向を尊重した更新が必要。 ○初回更新箇所では社会実験的な取り組みをすべき。 ○土壌改良の必要範囲について検証が必要。 ○評価項目と評価方法を決定する前に、現地確認必要。	● 検討区間は7区間とし、区間毎の特徴を踏まえ更新パターンを検討。橋通りは歩行者からの視点も考慮し検討。 ● I 期更新区間(区間1)の更新パターンは、アンケート結果等から「端から更新」とする。 II 期更新区間以降は、I 期更新区間の更新工事の検証結果を反映する等、段階的に検討。 ● I 期更新区間(区間1)の更新結果の検証項目、評価項目評価方法を検討。 ● I 期更新区間で、土壌改良の必要範囲も検証。 ● 検証項目、評価項目・方法の検討前に現地調査を行う。
○コスト面から、植栽間隔の見直しの検討が必要。	● I 期更新区間の植栽間隔は9mとするが、更新の検証結果に応じて、見直しを検討。
(2) 更新(植え替え)の順序	
○橋通りは注目度が高いため、一の鳥居交差点から南へ順番に進めることが妥当。 ○更新パターンと関連するので、併せた議論が必要。 ○想定寿命を80年(H24年度検討時)とすると、1本置きパターンの2巡目更新は寿命95年(植栽後80年)での更新となり超過する。	● 当面は、一の鳥居交差点側から南に順番に進める。 ● 更新パターンに併せて、見直しを行う。 ● 想定寿命は樹齢の100年(植栽後85年)とし、更新ペースは、現計画の年間14本を基本に進める。

2. 更新(植え替え)計画の基本的な考え方

検討会意見概要	基本的な考え方
(3) 苗木の調達方法	
○苗木は基本的に育苗で調達し、樹高4mに成長するまでの約15年間は市場調達する方針です承。 ○生育不良による苗木調達への影響を回避するため複数の圃場で育成が必要。	●圃場での育苗を基本とするが、当面(15年)は市場調達。 ●複数の圃場での育成を行う。 ●現在の圃場候補地の計画を検討。
○地元小学生も含めた連携や里親制度を検討すべき。	●パームに対する関心を高めるため、地元小学生も含め地域と連携した育苗を検討。
(4) 地域との協働による更新(植え替え)方法	
○地元小学校等との連携や里親制度を検討すべき。	●持続可能な更新に向け、オーナー制度も含む維持管理方策を検討。
(5) 既存木の活用方法	
○既存木の活用方法を検討すべき。 (修景を必要とする箇所への移植等)。	●既存木は単に廃棄せず、活用方法を検討。 ●関係機関に移植箇所(修景箇所)を確認し、移植に関する調整を行う。
(6) 樹種に関する意見	
○植栽スペースを考慮すると、葉が大きくなり掌状葉のヤシで高さを有するワシントニアームが最適。 ○ワシントニアーム以外の樹種の検討も必要。	●ワシントニアームを基本に進める。
(7) その他意見	
○ロボットアーム等での維持管理作業の可能性を検討してはどうか。	●使用機械の実績を整理。(第2回検討会資料)

3. 苗木の調達方法

(1) 苗木調達の基本方針

①育苗の基本方針

- 種の継続、経済性等から圃場での育苗を基本とする。苗木が育つ迄の間は 市場調達を行う。
- 生育不良による苗木調達への影響を回避するため、複数の圃場での育苗を行う。
- パームに対する地元小学生の関心を高めるため、地元小学生も含め地域と連携した育苗を検討。

②育苗のスケジュール

・育苗の作業内容、スケジュールは下記の通りとする。



③育苗方法の検討

- ・秋まき(10月に採種→11月に播種→12月に発芽)と、春まき(10月に採種・保管→翌年3月に播種→4月に発芽)それぞれの露地栽培とハウス栽培の実施を検討。
- ・「播種」、「鉢上げ」、「圃場定植」の各段階において、体験学習の実施を検討。

3. 苗木の調達方法

(2) 体験学習実施計画(案)

＜体験学習の目的＞

- 宮崎におけるワシントニアパームの歴史や、南国宮崎を印象付けているワシントニアパームの役割について学ぶとともに、ワシントニアパームのある景観を維持・持続していくための植え替えや苗の育成の必要性について理解を促す。
- これらの体験学習を通じて、宮崎ワシントニアパームに対する愛着の醸成と育成の次世代への継承を目指すものである。

○今回の体験学習が第一段階となるため参加者アンケートを実施し、次回以降の体験学習の検討に活用する。

①実施日、会場

実施時期 : 平成29年11月26日(日)

会 場 : 国土交通省 宮崎河川国道事務所
駐車場を開放し、屋外での実施とする。
(雨天の場合は屋内に変更)

3. 苗木の調達方法

②対象者

初回は全員の発言・対話が可能な少人数での実施。
小学生20名と保護者を予定。

●公募・・・10名

「美しい宮崎づくり推進条例」を制定し、「美しい宮崎づくり推進計画」の策定を進める宮崎県において、人材育成の一環として小学生10名を定員とし、公募。

●I期更新区間の沿道地区の小学生・・・10名

沿道地区の小学生10名を定員とし、募集。

③募集方法

●県による公募

●I期更新区間の沿道の自治会にちらしを配布して募集。

3. 苗木の調達方法

- 参加者募集に当たり、配布するチラシ(案)と配布先等は、以下の通りである。

▼チラシ配布の概要

配布時期：平成29年10月

- 宮崎県による公募の際に活用
- I期更新区間の沿道の自治会に配布。

●申込先／申込方法：
FAXにて主催者(宮崎河川
国道事務所)に申込み

●応募多数の場合は先着順。

▼チラシ案(表)

宮崎ワシントンニアバーム 体験学習

南国宮崎のシンボル
ワシントンニアバームについて学ぼう!!

開催日時
平成29年**11月26日(日)**
10:00~11:30
受付開始 9:30
会場 国土交通省 九州地方整備局
宮崎河川国道事務所
参加費 無料

宮崎市内の国道10号、220号の中央分離帯に植栽されているワシントンニアバームは、成長に伴い樹高が20m近くなり、維持管理が困難になりつつあります。そこで、今後60年をかけて順次、植替えを行い、若い木に更新していくこととなりました。この体験学習では、宮崎を象徴するワシントンニアバームを次世代につないでいくため、子どもたちに楽しく学んでもらうことを目的としています。

～みんなで知ろう ワシントンニアバームのあれこれ～

学習プログラム
宮崎ワシントンニアバームについて知ろう 宮崎における歴史、次世代につなげる取組 など
ワシントンニアバームってどんな木？ 特徴、他の樹木との違い、成長の様子 など
ワシントンニアバームをさわってみよう！ 種を植えてみよう！ 実際に種を植えてみます

募集対象 小学生のみなさん ※保護者の方も参加できます

募集人数 10名 ※応募多数の場合、先着順で締め切らせていただきます。

主催 国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所 道路管理第二課
お問合せ先 〒880-8523 宮崎県宮崎市大工2丁目39 TEL：0985-24-8221

▼チラシ案(裏)

開催場所へのアクセス

申込方法
下記に必要事項を記入の上、FAXにてお申し込みください。

申込記入欄

※連絡先はTEL、FAX、メールアドレスのいずれか(1つ以上)を記入してください。

保護者氏名	〒	TEL:
住所		FAX:
		メールアドレス:

ふりがな	年齢	学年
お子様お名前	男女 歳	年

ふりがな	年齢	学年
お子様お名前	男女 歳	年

※個人情報保護について
今回ご記入いただいた個人情報は、宮崎ワシントンニアバーム体験学習のご案内以外に使用されることはございません。
また、本人の承諾を得ることなく第三者に提供することはありません。

送付先 FAX：0985-32-7301 申込〆切 平成29年11月17日(金)
お問合せ先 国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所 道路管理第二課
〒880-8523 宮崎県宮崎市大工2丁目39 TEL：0985-24-8221

3. 苗木の調達方法

④実施内容(案)

▼タイムスケジュール(案) 全90分

時間	項目	内容
(10分)	はじめに	◆開会挨拶 ◆趣旨説明 ・目的や経緯、本日の流れ ◆参加者及びスタッフ紹介 ・どんな方が参加されているか ・講師(樹木医予定)、事務局紹介
(12分)	宮崎ワシントニアパームについて知ろう	◆宮崎でのパーム植栽の歴史について ◆国道パームの維持管理について ◆植え替え必要性和今後の計画について ◆苗育成の必要性について
(15分)	ワシントニアパームってどんな木？	◆ヤシ科植物・パームの特徴と生態、一般樹木との違い等(幹材等を使って) ◆各生育段階の説明と苗育成の手順(種・鉢苗等を使って)
(10分)	休憩	
(30分)	ワシントニアパームをさわってみよう！種を植えてみよう！	◆パームの緑葉、枯葉、種付きの穂、幹材、根などに触れてみる。 ◆何かに使えそうか考えてみる。 ◆何が作れたら楽しいか考えてみる。 ◆種まきの方法と手順を説明する。 ◆種まきを体験してみる。
(5分)	質問	本日の内容を踏まえた質問、回答
(5分)	アンケート記入	◆アンケートのお願い
(3分)	おわりに	◆閉会挨拶

3. 苗木の調達方法

▼体験学習の取り組みイメージ

●学習内容についての説明、参加者による体験



3. 苗木の調達方法

⑤アンケート(案)

▼アンケートの概要

目的	パーム苗育成体験学習について、参加者の満足度、具体的な良い点、悪い点等を確認し、次回の体験学習の改善の参考とするために、参加者アンケートを行う。
アンケートのタイミング	体験学習当日の最後に実施(5分程度)
項目数	全5問

▼アンケート(案)

なえいくせいたいけんがくしゅう さんか
パーム苗育成体験学習に参加したみなさんにおたずねします。

あてはまる番号を○で囲むか、() に答えを書いてください。

質問① あなたは何年生ですか。 小学校 () 年生

質問② 今日の体験学習は、どうでしたか。

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. とてもよかった | 2. よかった |
| 3. あまりよくなかった | 4. よくなかった |

質問③ いちばん楽しかったことは下のどれですか？ひとつえらんでください。

- 宮崎ワシントンアパームについて知ろう
- ワシントンアパームってどんな木？
- ワシントンアパームをさわってみよう！種を植えてみよう！

質問④ まだパーム苗育成体験学習に参加したいですか。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. とても参加したいとおもう | 2. 参加してもよいとおもう |
| 3. 参加したくない | |

質問⑤ 体験学習の感想を自由に書いてください。

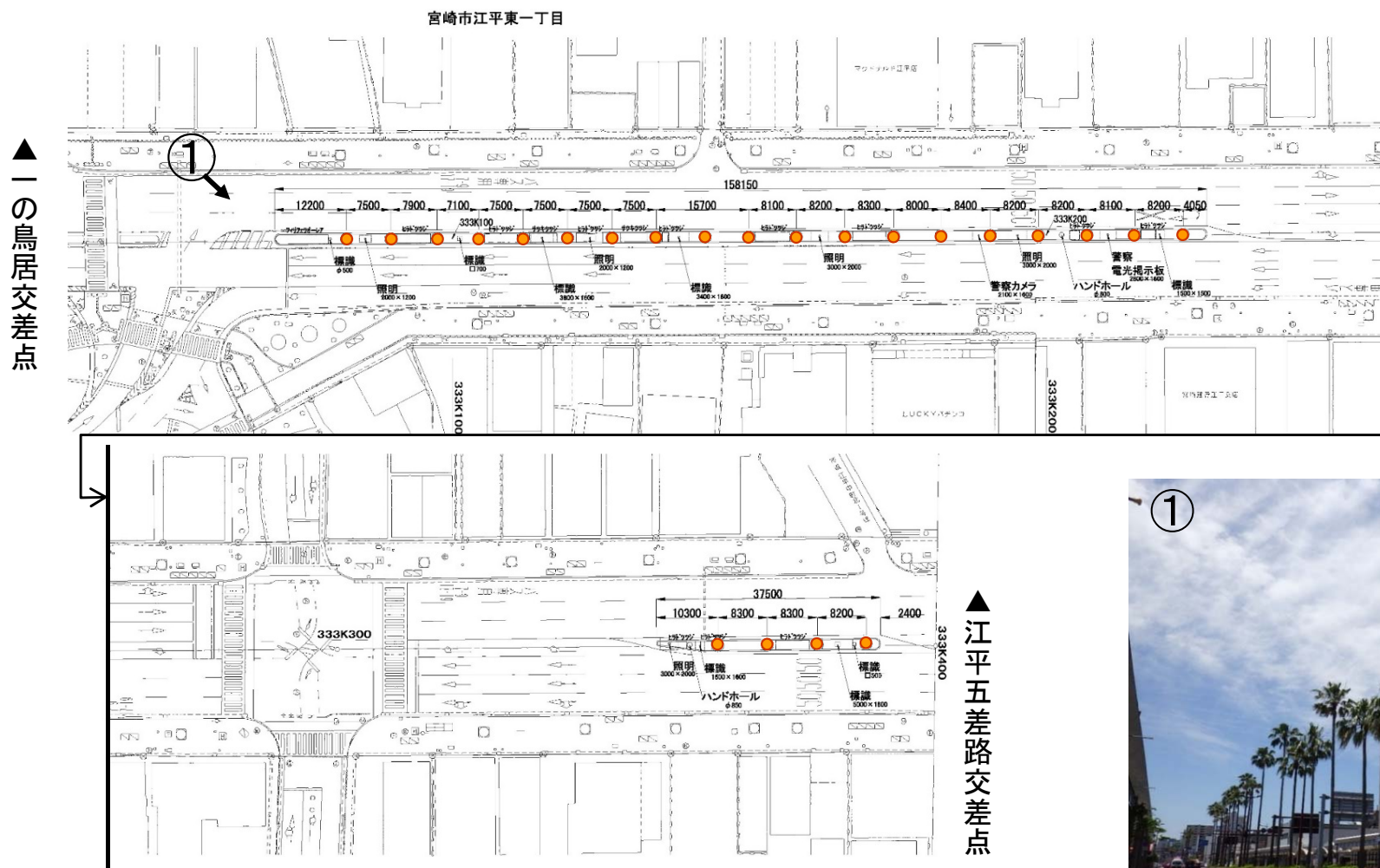
ありがとうございました。

4. 平成29年度更新区間の現地調査

(1) 平成29年度更新(植え替え)の工事概要

- I 期更新区間(1.2km)のうち、一の鳥居交差点～江平五差路交差点間(400m)の植え替えを実施。
- 植え替え前は、約7m間隔(7.1m～8.4m)で23本のワシントンアパームが植えられていた。

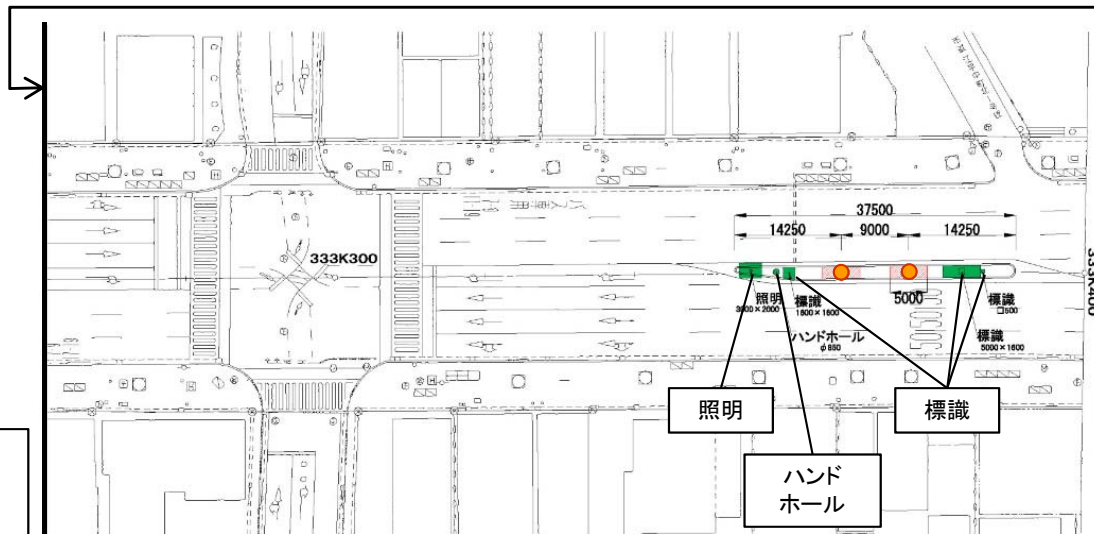
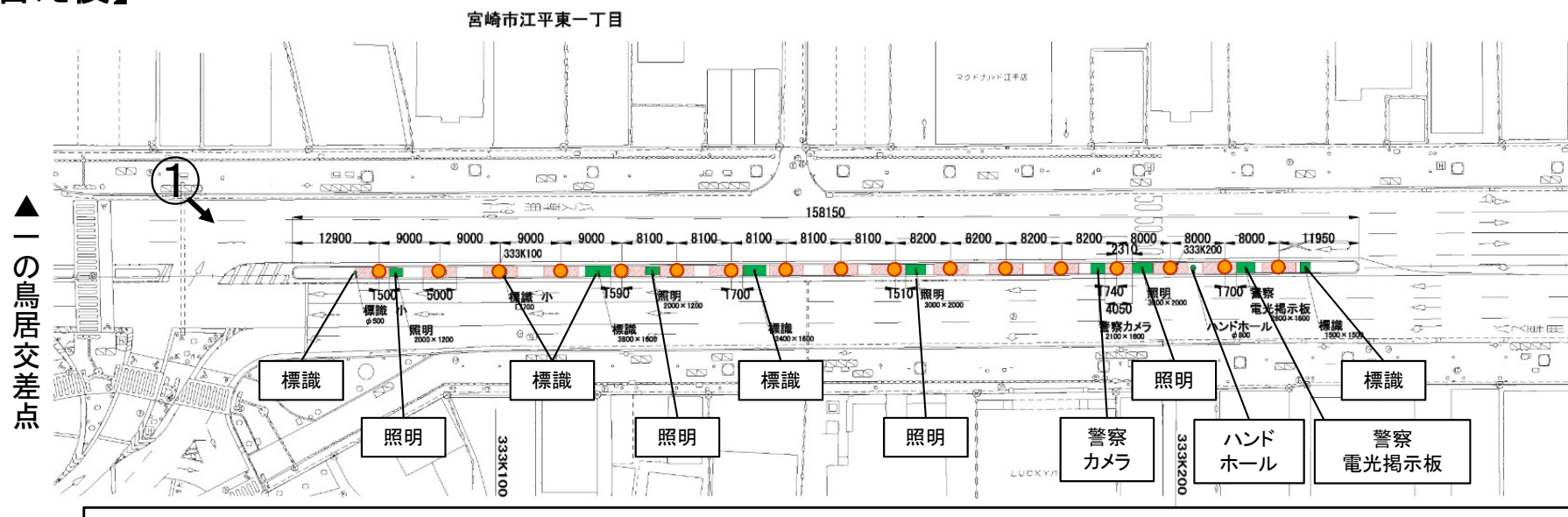
【植え替え前】



4. 平成29年度工事区間の現地調査

●平成29年度工事箇所は植栽間隔9mを基本とし、土壌改良範囲は道路付属物(支障物件)の基礎を避けて配置間隔の見直しを行い、19本のワシントンアパームを植栽した。

【植え替え後】



凡例
 ● : 更新木
 ■ : 支障物件基礎

4. 平成29年度工事区間の現地調査

①施工手順

●移植及び伐採

1本目は移植(根巻き作業)



移植先に運んで植える



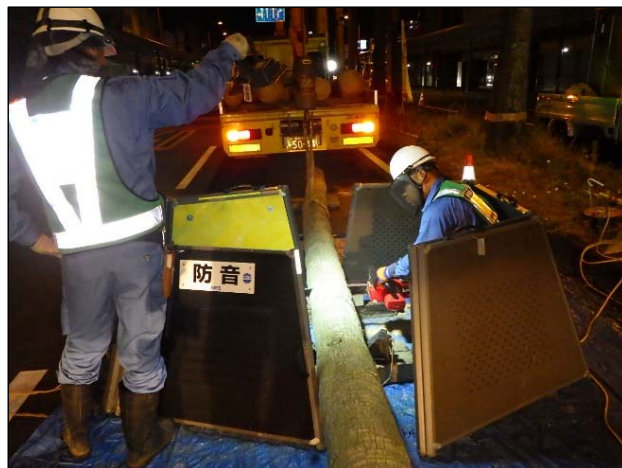
移植完了



2本目以降は伐採、根の撤去



伐採した幹を4mと2mに切る

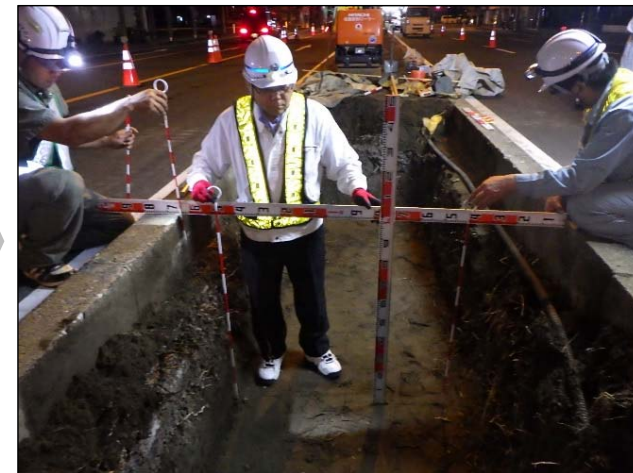


丸太を運び、高架下で保管する



4. 平成29年度工事区間の現地調査

● 土壌改良



● 苗木植栽(4m)



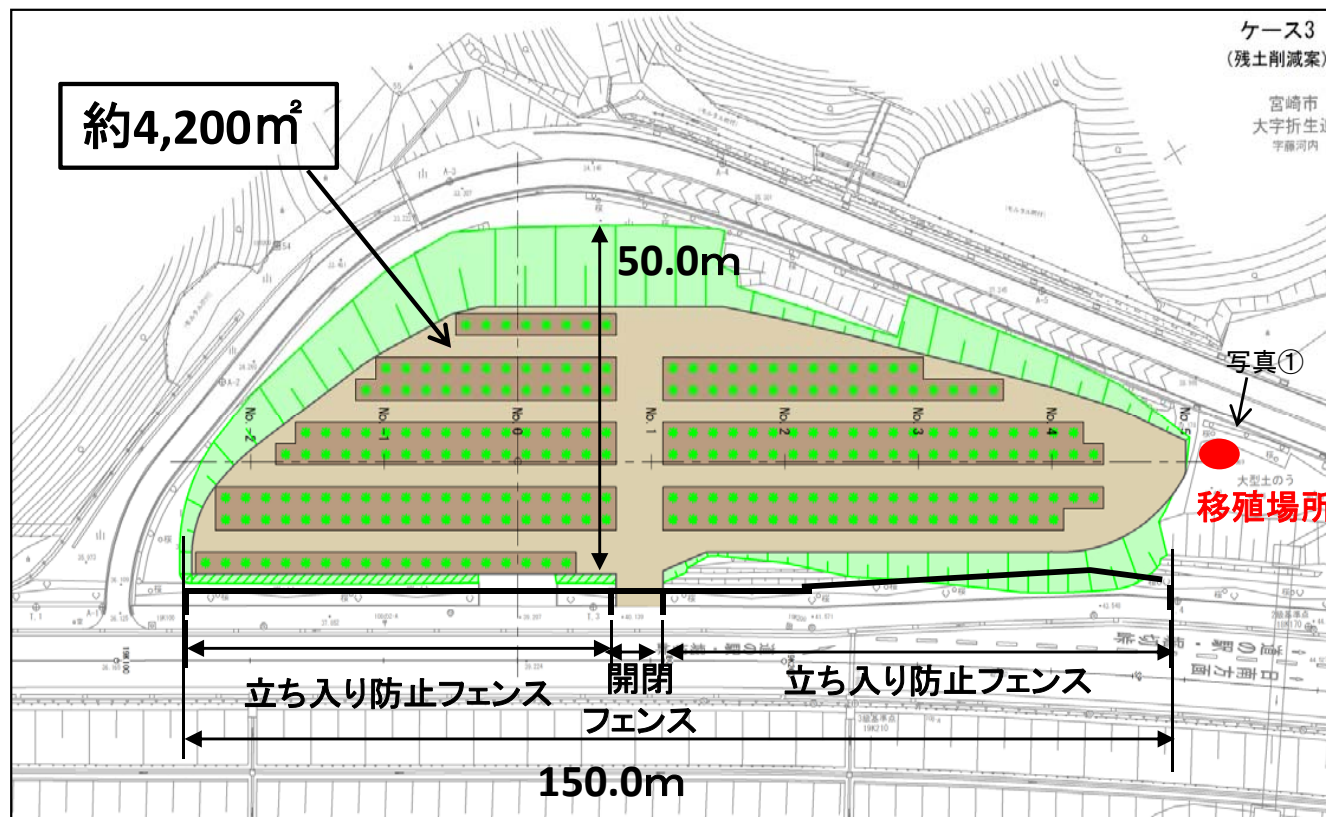
芝生を張る



4. 平成29年度工事区間の現地調査

②既存木活用(移植)

- 想定寿命100年を確認するため、圃場候補地の隣接場所に1本目の更新木を移植。
- 更新工事の1本目として記念樹にもなる。
- 土留め材に、伐採した既存木を活用した。



▲圃場候補地の概要図

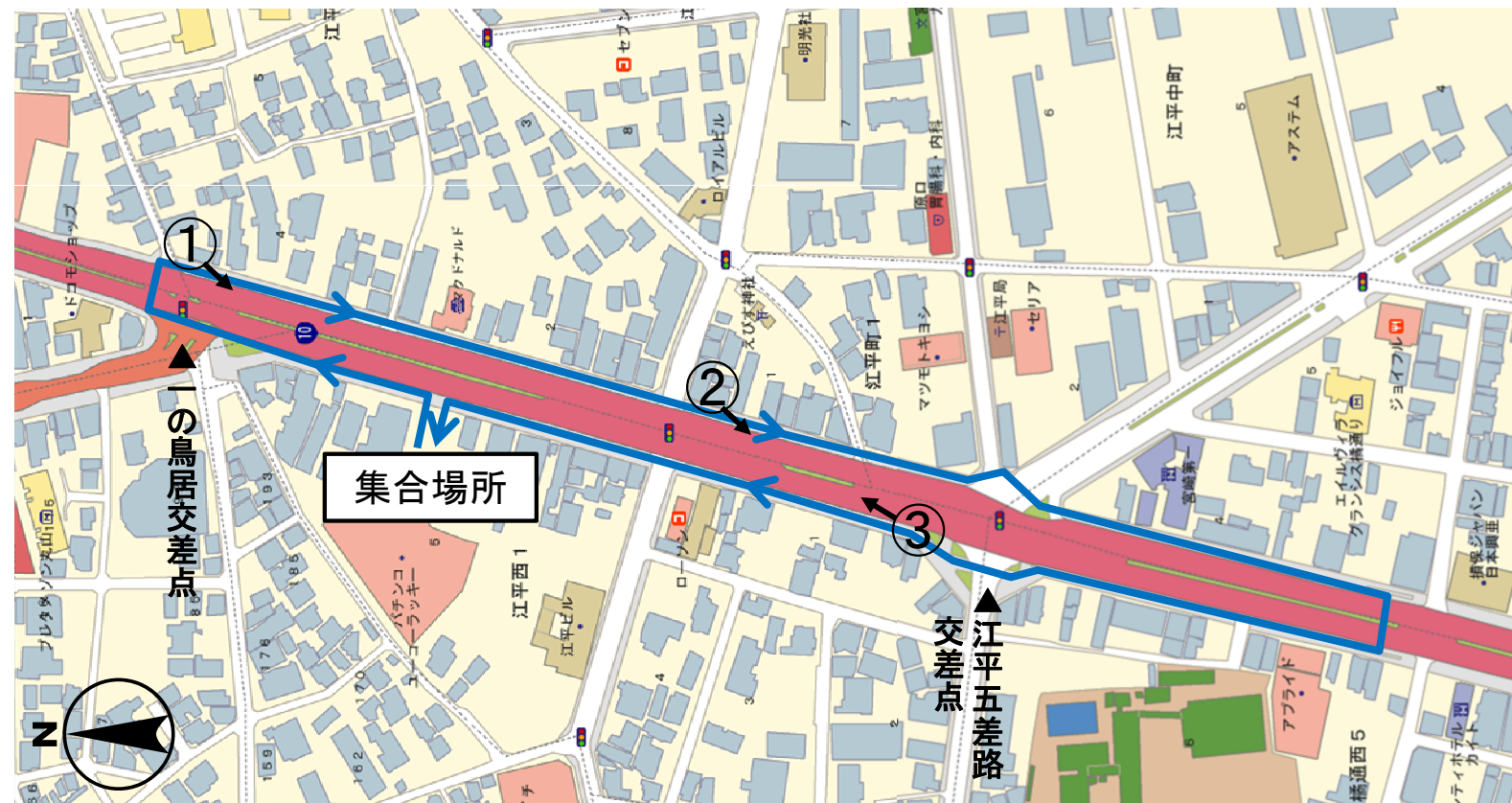


▲写真①

4. 平成29年度工事区間の現地調査

(2) 現地調査の概要

●現地調査ルート



5. 今後のスケジュール

